

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

6月の活動予定

6月4日(火) 第一例会

6月18日(火) 第二例会

6月1日(土) 物見清掃 長山協
清掃後練習6月9日(日) 中西山 たけのこ採り
CL…6月16日(日) 谷急山
CL…6月29・30日(土・日) 餓鬼岳・唐沢岳
CL…

7月の活動予定

7月2日(火) 第一例会

7月16日(火) 第二例会

7月6・7日(土・日) 唐松・五竜岳
CL…7月13・14・15日(金・土・日) 北岳・農鳥岳
CL…7月20・21日(土・日) 中ノ岳
CL…7月26・27・28日(金・土・日) 裏剣
CL…

3・4月の活動報告

5月3・4・5日(金・土・日) 立山周回

参加者:

天気:快晴

5月3日(金)

5:10 扇沢に着くと、駐車場は満杯に近く、次々と車が入ってくる。7:15 のバスに乗り、4つの乗り物に運よく次々と乗り継ぐことができ、8:40 には、室堂に着くことができた。9:40 テント場につき、テント設営。雪が凍っていて、スコップが入らず苦労した。強い日差しのなかテント設営も終わり一日目の行動終了。快晴のなか、室堂の景色を満喫した。雷鳥沢ロッヂまで行って、生ビールを飲み、明日のコースを確認した。



5月4日(土)

4:30 起床。6:30 テント場出発。雲一つない快晴。うれしい。今日も一日穏やかな晴れの予報なので、ゆっくり立山周回を楽しもう。雷鳥沢を稜線まで一気に登る。途中、雷鳥を2回見る。雷鳥って飛ぶんだと思った。劔御前小屋で休む。劔岳が目の中に迫り、劔沢にはスキーのシュプールが幾筋もついていた。真砂岳では北峰まで足を延ばした。北峰は展望がよく、わざわざ来たかいがあった。カメラおじさんが三脚を構えて写真をとっていた。ビューポイントなんだ。折立への登りは岩場と雪のミックスで注意深くのぼったが、登りきったところでホッとした。大汝山からは、朝日岳から遠くにかすむ乗鞍岳まで北アルプスが全て見える。足元を覗くと、黒部ダム。地図でみていた地形は、こうなっていたのか！感動！



雄山神社直下の岩場は、右手のトラバース道には入らないように、と言われていたので、トラバース道を避けて、険しい岩場をアイゼンで登った。岩場からひょいと顔を出すと、雄山神社の拝殿の裏に出た。後ろからスママセンと神様に謝りながら、雄山神社に手を合わせた。狭い神社の拝殿は、登山者で混みあっていた。険しい登山道もおわり、ゆっくり景色を楽しんだあと、一の越にむけ下山。下山道は半分ほど雪がなくアイゼンで下るのは不安定だった。一の越からテント場への道は長かったが、今日歩いた稜線が一目でみわたせるので、登山道を思い出しながら、テント場に戻った。



5月5日

テント撤収後、ターミナルに向かう。2日前より雪はとけてかなり茶色くなっている。雪の室堂を見納めして、9:15トローバスに乗る。10:15 扇沢に着く。帰りの乗り物もびっくりするくらい順調にあっけなく扇沢に着いた。立山周回、参加してよかったと思う。技術の未熟な私にとっては無我夢中の立山周回だったが忘れられない景色を見ることができた。

1日目
 長野 4:00—扇沢 5:10—室堂 8:40—テント場 9:40
 テント設営 11:00
 2日目
 テント 6:30—御前小屋 8:30/8:50—別山 9:45—真砂岳 11:08/11:15—折立 12:16—大汝 12:56—雄山 13:34/14:05—一の越 15:06—テント 16:12
 3日目
 テント 7:45—室堂ターミナル 8:54—扇沢 10:20

5月19日(日) 蝶ヶ岳感想

天気:晴れ
 参加者:

山の木々が緑に萌える季節には、早朝の出発も苦にならない。松代 IC から高速に乗ると西の空に沈んで行く満月があった。

三股登山口 P は心配していた程の混雑もなく一安心。身支度を整え出発。全く雪が無く、冬山装備一式を背負って登るのは・・・なんだかな・・・と思う程。

無人の補導所に計画書を投函して登山道を進むと足元に花が咲き始め、思いがけない出会いに嬉しくなった。背丈の低い二輪草が群生し、エンゴサク、キクザキイチゲは白花

と薄紫花が、ハシリドコロ、サンカヨウ、エンレイ草、ツバメオモト、山ワサビ、ツクバネ草は開花も間近か。

樹林帯を登り、まめうち平を過ぎてアイゼンを着けた。しばらくは平穏な登山道を行き、蝶沢をはじめ、いくつもの沢をトラバース、腐ったザクザクの雪で歩きにくい事この上無し。藪を踏み付け、またぎ、避け、踏み抜いて恐ろしい程の穴に足を取られぬ様細心の注意を払う。それにしても深い穴、どうやって脱出したのかしらん！そんな心配をする様な生々しい痕跡。急登が続く休憩する場所がなかなか見つからず高度を稼ぐ。稜線近くで、下山してくる登山者から励ましのエールをもらい一頑張り。ハイマツ帯の手前でアイゼンをはずし山頂へ向かった。蝶ヶ岳ヒュッテから蝶ヶ岳へ続く稜線がなだらかに延び、ひと登りで穂高連峰と対峙した。余りの美しさに叫んでしまう程の感動だった。心ゆくまで景色を堪能し、ヒュッテに立寄って昼食にラーメン・おでんを食した。汗を流した身体には五臓六腑に染み渡る塩分だった。

下山はアイゼンを着けてもズルズル滑り、滑落しない様、穴に足を踏み入れぬ様細心の注意を払った。まめうち平でアイゼンをはずし、思いも掛けぬ虫の襲来に驚いたが、夏道になった登山道に咲く花を愛でながら無事下山した。



長野 4:15 — 安曇野 IC 5:00 — 三股 P 5:35/6:00
 — 力水 6:45 — ゴジラみたいな木 6:53 — まめうち平 7:58 — 蝶ヶ岳 11:20/13:00 — まめうち平 14:44 — 三股 16:23 — 長野 18:20

4/28(日) 三ノ沢岳

参加者…

10連休の2日目。混雑を予想し、4:30集合。駒ヶ根菅の台Pを目指す。駐車場着6:10。まだ空気があった。

三ノ沢岳は、駒ヶ岳ロープウェイを利用して、千畳敷から日帰りで登る。木曾駒や宝剣の人気と比べ、ほとんど人が入らず、連休でも静かな山行が楽しめるという。

発券は7:00からで、売り場前に数十人が並んでいる。

待っている間に山岳相談所の指導員のアドバイスを頂く。稜線のナイフリッジは雪の状態で難易度は大きく変わる。場所により雪の状態はいろいろで何とも言えないが、数日前にかなりの降雪があったので踏み抜きに注意するようこの事。

臨時便も増発され、7:30 発のバスに乗り、ロープウェイに乗り継いで千畳敷着8:20

アイゼン、ピッケル、ハーネス、ヘルメットを着け、8:45 出発。

木曾駒へは、すでに蟻の行列のように人がつながっている。これから行く空木方面はと見ると、スキーとボードらしい人が4人歩いているのが遠くに見える。行く人は極端に少ないが、先行者がいた。

まず、極楽平を目指す。いきなりの急登。足元を雪玉がコロコロと転がり落ちていく。行先を追うと、急斜面をまるで奈落の底へ落ちていくようで、思わずブルツとする。自分が転がり落ちないよう、一步一步に集中する。急登の最後は、ヨイショと大股三ノ沢岳が現れた。

冷たい風に汗ばんだ身体が急に冷え、冬ガッパを着る。

宝剣目指して歩き始めると、さんが「トラバースして行きましょう」と夏道用のロープをまたいで、大雪原の中をガンガン歩いていく。皆で後に続く。「さん、さすが〜！」

お蔭で、かなりの時間と距離が短縮出来た。

三ノ沢岳の稜線に合流。振り返ると、宝剣、中岳、木曾駒ヶ岳。また、檜尾岳、空木岳、南駒ヶ岳の山々の背後には、くっきりと南アルプスの山々と富士山。そして、真横には、御嶽山。

カールをボーダーが1人、歓声を



あげながら滑っていく。見ているこちらにも気分が良い。私たちは、贅沢な稜線歩き。先行者が1人いて踏み跡が付いている。雪がしまり、アイゼンが効いて歩き易い。

これだけでも最高だったのに、この日は更なる大自然からのプレゼントが。中央アルプスを彩るかのように空にくっきりと1



直線の虹が！環水平アークという珍しい現象だったと翌朝の新聞で知ったのだが、美しさに足を止めて見入ってしまった。

トラバースして来た4人のスキーヤーとすれ違い、慰霊塔のケルンを過ぎ、偽ピークを過ぎ、11:45 山頂着。13:00 タイムリミットだったので、余裕の時間に、山頂ではのんびり35分間。極上の休憩タイム。

下山は、滑落に注意しながら、来たところを戻る。極楽平14:20着。ここからが、登りで一番気を使ったところ。急斜面のトラバースは、後ろ向きになり、ピッケルを雪面に刺し、三点支持をしっかりと守りながら下った。

安全な所に来ると、スキーヤーやボーダーと会話する余裕も。今日登り3回目、4回目と言う人達に驚く。

千畳敷に戻り、皆で握手！有難うございました！

下りのロープウェイではカモシカも見られ、係の方が、今日は富士山とカモシカが見られて、皆さん運が良いと言っておられた。

帰りの高速も渋滞することなく順調に走る事が出来、良かった。

三ノ沢岳は、さんが年間計画に提案されて実現した山行だ。素晴らしい山行だっただけに、さんが参加出来なかったのは残念だった。宮下さん、有難うございました。

4/28(日) 長野(A コープ松代) 4:30=駒ヶ根 IC6:04=菅の台 P6:10/7:33=しらび平駅 8:04/8:11=千畳敷駅 8:20/8:45=極楽平 9:40 -最低鞍部 10:35=三ノ沢岳 11:45/12:20=極楽平 14:20=千畳敷駅 14:50/15:30=しらび平駅 15:46=菅の台 P16:15=長野 18:05